

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 017	提案機関名 農業技術センター 普及指導部
要望問題名 夏切りユーストマの品種比較試験の拡充と9月出荷における草姿の改善について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現地では、7月盆から8月盆、9月彼岸に向けて出荷される夏切り栽培のユーストマの生産が増えています。直売及び市場出荷どちらにも需要が高く、一般切り花栽培の年間生産品目の1つとして有望な作目と考えられます。農業技術センター生産技術部においても品種選定に取り組まれているところですが、現状の試験規模では1シーズンに比較できる品種数が少ないため、試験栽培面積の拡大をお願いします。 また、9月の彼岸出荷の作型については、草丈が短くなってしまうことが問題となっているため、草丈伸張による草姿の改善に対する技術開発についてもご検討宜しくお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 直売向けトルコギキョウの栽培方法の開発および品種選定		
対応の内容等	夏切りユーストマ生産が増えている現状を受けまして、平成28年度からユーストマの季咲き作型における品種比較試験を実施していますが、次年度は試験栽培面積を拡大する予定です。また、供試品種の選定にあたっては現場で導入されている品種や現場の要望を考慮し、より有望な品種を検索できるよう情報収集しますのでその際には協力をお願いします。 9月彼岸出荷の作型における草姿改善技術については、情報収集を進め継続して検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			